



あけましておめでとうございます

子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。寒さが一段と身に染みる季節ですが、「子どもは風の子 大人は火の子」というように、戸外で沢山体を動かして遊びたいと思います。

今年度も残り3ヶ月となりました。沢山のことを経験し、来年度につなげていけるような保育を行っていききたいと思います。



何回とべるかな

9月頃からなわとびの練習を始めました。去年は、保育士が回す長縄を跳んでいましたが、今年からは短縄に挑戦です。初めて練習を行う時には「やったー」となわとびを使えることに大喜びしていた子ども達。跳ぶイメージはあっても、実際にやってみると「わかんない」「できない」と難しい様子。縄を回したり、足元にある縄を跳んだりと繰り返し練習しました。最初の頃はなわとびの練習を喜んでいましたが、なかなか思うように跳べず、楽しさを見い出せなくなってしまいう子もいました。「なわとびの練習しよう」と言うと、「えー」「どうせできないから」とやる気もなくなってしまいう子も。その中でも一生懸命練習する子もいて、1回ずつ丁寧に跳んでいるうちに、いつのまにか園庭を何周も回っていました。練習を重ね、繰り返し跳べるようになる子が増えてくると、少しずつやる気も復活し、友達同士で数えあったり、保育士に数えてもらったり、皆で「せーの」で跳んだりと楽しめるようになりました。

「どうせできないから」と何事に対してもすぐに諦めてしまう所がある子ども達。しかし、なわとびの練習を通して、頑張った分だけできるようになることを少しずつわかってきたようです。出来ないことを根気強く練習するのは楽しいことではありませんが、何事にも諦めずに挑戦していく気持ちを持てるようになってほしいと願っています。



カマキリの卵

カタツムリ、カマキリ、カナチョロなど観察してきましたが、季節の変化と共に、昆虫達の姿が見られなくなりました。12月の月刊誌には昆虫の冬眠の様子が紹介されていて、なぜ昆虫を見つけられないのかを学んでいた子ども達。ある日、カマキリの卵を発見。虫かごに入れて観察する事にしましたが、図鑑などに卵の写真はあっても育て方までは書いてありませんでした。卵を観察するには、どんな環境がいいか悩み、子ども達に聞いてみました。「あたためる?」「寒い所に置く?」「水は必要?」など沢山の疑問があります。「あたためる」「少しの水が必要」という意見が多くありました。「水が多いと赤ちゃんが溺れちゃうから」と考えたようです。「パパに聞いてみる」と言う子もいて、「パパなら何でも知ってるから」と得意気に話をしていました。赤ちゃんカマキリが生まれてくる日が待ち遠しい子ども達です。

葉っぱじゃんけん

園外保育で鶉の岬公園に行った際に、色とりどりの落ち葉や、木の実などを見つけたり、広場を元気に走って遊んできました。「先生、じゃんけんしよう」と男の子が来て、片手には何かを握っているのが見えました。きっと虫を捕まえて保育士を脅かすのだらうと思いながらじゃんけんしました。「じゃんけんぽん」で開いた手には、小さな葉があり、もみじの葉をパーにして出してきました。なんてかわいいことをするんだらうと感動しました。しかし、もみじではパーしか出せません。一生懸命考え、もみじの葉から3本切り取り2本を残してチョキを作り、桜の葉でグーを作って遊びました。保育園に戻ってから、絵本の中からいちょうの葉を見つけ、「チョキあったよ」と嬉しそうに教えてくれました。

自然を通して色々な事を学んでいる子ども達。冬ならではの遊びも沢山取り入れた保育を行い、楽しい毎日を過ごしていきたいと思っています。